

【写真の部・特選】



「古代に挑む現代縄文人」 守田理恵（宮城県多賀城市）

F5 1/160s ISO320

【写真の部・準特選】



「火影」 小野寺宗貴（東京都目黒区）

F15.6 1/20s ISO200



「まなざし」 伊藤宏文（宮城県栗原市）

F4.8 1/250s ISO800

【写真の部・入選】



「火人」 小野寺宗貴 (東京都目黒区)
F14.5 1/340s ISO1600



「灼熱」 木村東仁 (岩手県一関市)



「Jazzy な縄文の夕べ」 菅原光宏 (宮城県栗原市)
F14 1/50s ISO800



「手を合わせ」 高橋弘 (岩手県花巻市)
F7.1 1/30s ISO200

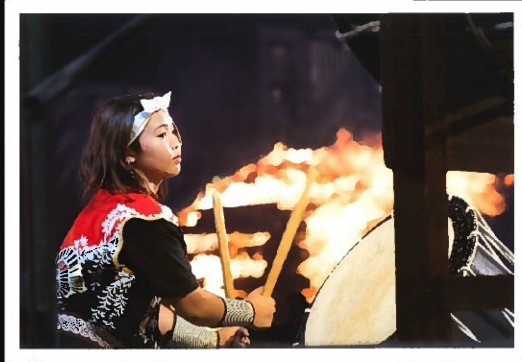


「縄文談義」 伊藤宏文 (宮城県栗原市)
F4 1/60s ISO1600



「縄文の世界へ飛び立とう」 三浦弘嗣 (宮城県登米市)
F5.6 1/100s ISO12800

【写真の部・入選】



「思いを込めて」三浦明彦（宮城県登米市）

F4 1/125s ISO1600

【スマートフォンの部・入選】



「非日常的な日常」ピンオイカワ（宮城県登米市）

藤沢町民以外の人間には、野焼祭は非日常。藤沢町民にとっては当たり前の光景。非日常の中で、いつもと変わらず交流する瞬間は、私たち外部の者には新鮮そのもの。その瞬間を切り取った。



「縄文の宝」藤島友子（宮城県石巻市）

火と子供は宝物



「大地天焼」菅原光宏（宮城県栗原市）

藤沢の大地に灯された炎が、まるで天を焼いているかのような光景に、思わずシャッターを切りました。